

関東139号

1. 来歴

- 1) 系統名 関東139号 (旧系統名 作系30)
- 2) 交配組合せ ひめあやか(母) × 関東130号(父)
- 3) 用途 青果など

2. 特性の概要

1) 主な特性

萌芽性はやや良。いもの皮色は濃赤紫、肉色は淡黄である。いもの形状は紡錘形、大小は中で、揃いは両者とも中である。条溝、皮脈、裂開はすべて無で、外観は中である。上いも重はマルチ早掘栽培、マルチ標準栽培ともに「ベニアズマ」より多収である。蒸しいもの肉色は黄で、肉質は中～やや粘、調理後の黒変はやや少、食味はやや上～中で「ベニアズマ」並である。病虫害抵抗性は、サツマイモネコブセンチュウはレースにより反応が異なり中または強、立枯病に中～やや強、つる割れ病にやや強、黒斑病に中～やや強である。貯蔵性は易である。本系統は、条溝・皮脈・裂開がなく、マルチ早掘栽培およびマルチ標準掘栽培で多収、「ベニアズマ」並の良食味で調理後の黒変が少ないことから、青果用かんしょとして有望である。

2) 育成地における栽培試験成績 (平成24年度)

マルチ標準栽培の収量品質調査成績

品種・系統名	上いも重 (kg/a)	対標準比 (%)	上いも1個重 (g)	1株上いも数	切干歩合 (%)	いも			蒸しいも				
						外観	皮色	形状	肉色	肉質	繊維	黒変	食味
関東139号	379	144	202	4.8	31.4	中	赤紫	紡	黄	中	やや少	やや少	中～やや上
標) ベニアズマ	264	100	260	2.6	34.9	やや下	濃赤紫	紡	淡黄	粉	やや少	やや多	中～やや上
比) 高系14号	310	117	229	3.4	32.2	中	赤紫	紡	黄白	中	やや多	やや少	中～やや上

マルチ早掘栽培の収量品質調査成績

品種・系統名	上いも重 (kg/a)	対標準比 (%)	上いも1個重 (g)	1株上いも数	切干歩合 (%)	いも			蒸しいも				
						外観	皮色	形状	肉色	肉質	繊維	黒変	食味
関東139号	336	147	178	4.7	30.6	中	赤紫	紡	黄	やや粘	やや多	やや少	やや上
標) ベニアズマ	228	100	220	2.6	34.8	中	濃赤紫	紡	淡黄	粉	中	やや多	やや上
比) 高系14号	262	115	172	3.9	30.7	中	赤紫	紡	黄白	中	やや少	やや少	中

萌芽性、貯蔵性および病虫害抵抗性

品種・系統名	育成地		病虫害抵抗性 (育成地)					特性検定試験	
	萌芽性	貯蔵性 (H23)	ネコブセンチュウ		立枯病 (香取)	つる割れ病	黒斑病	立枯病 (徳島)	黒斑病 (長崎)
			場内 (谷和原)	現地 (香取)					
関東139号	やや良	易	中	強	やや強	やや強	やや強	中	中
ベニアズマ	中	難	やや弱	やや弱	強	やや強	中	やや強	-
高系14号	やや不良	中	弱	やや弱	弱	中	やや強	中	やや弱